

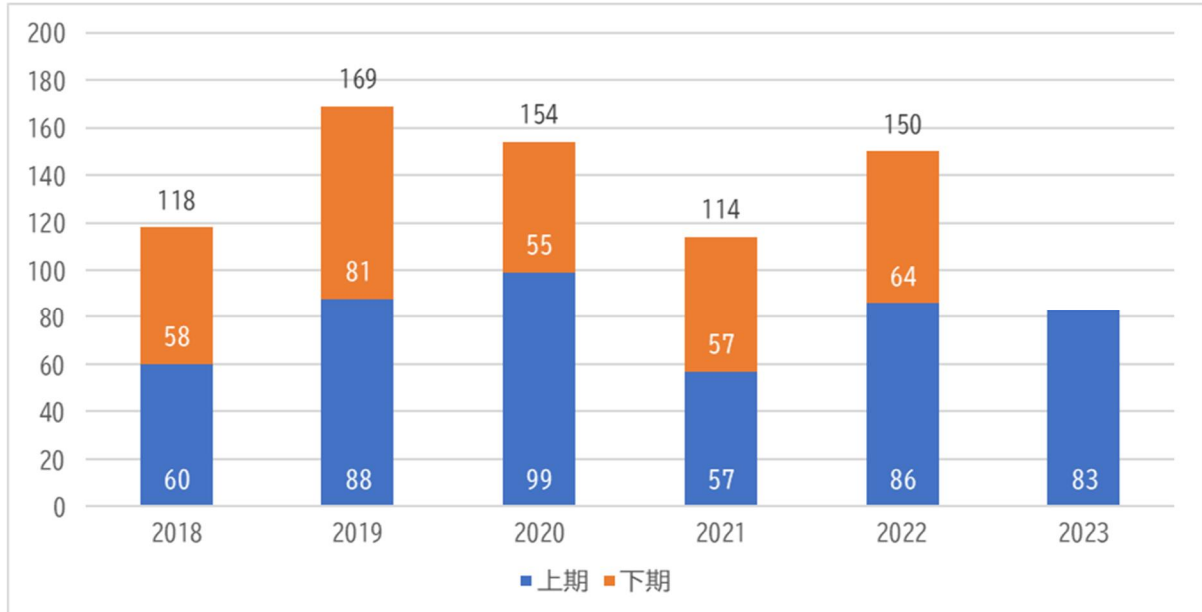
18歳・19歳の消費生活相談の状況－2023年度上期（4月～9月）－

【相談件数】

2023年度上期の18歳・19歳の相談件数は83件で、2022年度上期の86件とほぼ横ばいとなった。

（グラフ）契約当事者が18歳・19歳の相談件数の推移

（単位：件数、年度）



※上期における相談件数は各年度の4月1日から9月30日までの相談受付分。ただし、2023年は10月末までの登録分。

【相談の傾向】

商品・役務等別の苦情相談をみると、2022年度上期に脱毛エステサロンの倒産等による影響で急増した「理美容」が減少し、出会い系サイトなどに関する「他の教養・娯楽」が前年度とほぼ横ばいで1位となった。

また、大手中古車販売店の不正の報道の影響もあり、中古車に関する相談が増え、「自動車」が5位となった。

（表）18歳・19歳の商品・役務等別苦情相談件数（上位項目）

令和5（2023）年度上期			令和4（2022）年度上期		
順位	商品・役務名	件数	順位	商品・役務名	件数
1	他の教養・娯楽	10	1	理美容	28
2	理美容	7	2	他の教養・娯楽	11
	商品一般	7	3	内職・副業	5
4	紳士・婦人洋服	6	4	飲料	3
5	自動車	5		健康食品	3
	役務その他	5		化粧品	3
				書籍・印刷物	3
				娯楽等情報配信サービス	3